

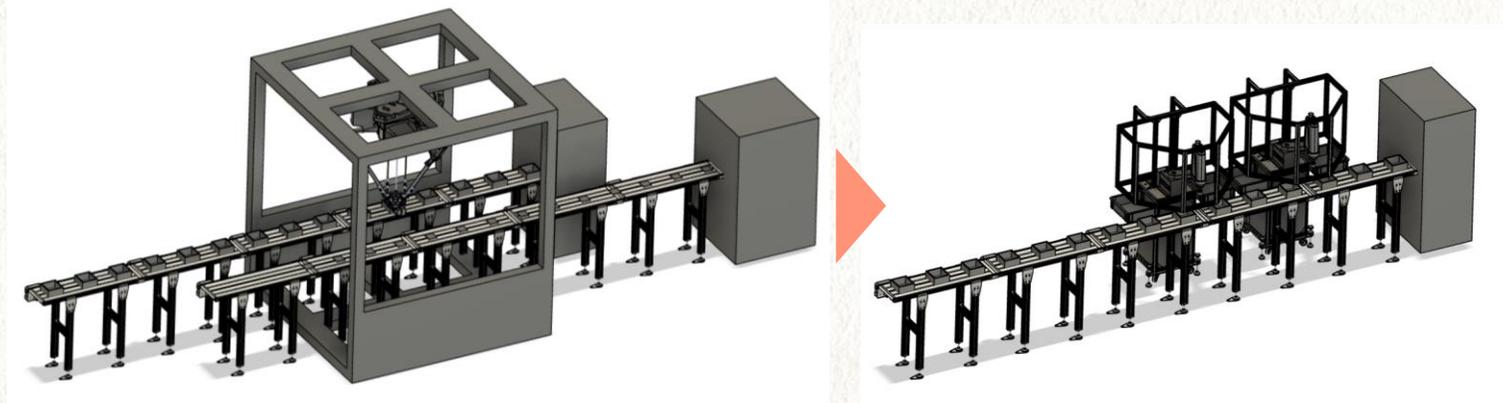
少量多品種の包装箱詰め作業を省人化するロボットシステムの開発 —食品製造業の労働力不足の解決と生産性向上—

【目的】

本プロジェクトでは、食品製造業を始めとした三品産業の現場の導入障壁を解決した、導入・運用のしやすいロボットシステム開発を目的とする。工場現場に数多く存在する手作業工程の中でも、省人化ニーズが高く共通の動作で構成される、「包装箱詰め・充填工程」をターゲットとし、このターゲット内でソフトウェアベースでインテグレーションを可能とするロボットシステムを開発する。これにより、従来よりも大幅なコストカットに加え、小型化、多品種少量への対応を実現する。

【成果】

ソフトウェアモジュールを実装し、ハードウェアでの動作確認を行い、モジュールを組み替えることで様々な包装・箱詰め動作に適応可能な基本的な機能実装が完了した。また、食品製造業への本導入契約を締結し、ロボットシステムの導入に向けた開発を開始した。



従来のロボットと本プロジェクトのロボットの比較イメージ